

平成 25 年度 東京都内湾水生生物調査 6 月稚魚調査 速報

●実施状況

平成 25 年 6 月 25 日に稚魚調査を実施した。天気は曇りで、気温 24.8~27.1℃、北東のち南の風 0.7~2.8m/s で海は静穏だった。当日は大潮で、12 時 19 分干潮、19 時 19 分満潮であった(東京都港湾局のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

調査の結果、お台場海浜公園、城南大橋で、マハゼの稚魚が多く確認された。葛西人工渚では大量(3kg 以上)のニホンイサザアミが確認された。

2013/6/25	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋
作業時刻	13:15-14:10	9:45-10:51	11:20-12:00
水温(℃)	26.5	24.8	27.1
塩分	13.7	23.4	17.5
透視度(cm)	36	27	17
D0(mg/L)	6.4	11.1	14.0
D0飽和度(%)	86.6	157.1	193.3
波浪(m)	<0.1	<0.1	<0.1
pH	7.9	8.3	8.5
水の臭気	カビ臭(微)	カビ臭(微)	カビ臭(微)
備考	干潟の砂表面に藻類が繁殖していた。	赤潮が発生していた。	赤潮が発生していた。

●主な出現種等(速報なので、種名等は未確定です)

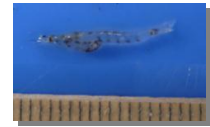
主な出現種等	葛西人工渚	お台場海浜公園	城南大橋
魚種 (多い順 ^注)	ボラ(c)	マハゼ(m)	マハゼ(m)
	エドハゼ(c)	ウグイ属(c)	ヒメハゼ(+)
	サツパ(+)	スズキ(+)	ボラ(+)
		ヒメハゼ(+)	イシガレイ(r)
魚類以外	ニホンイサザアミ(G)	アサリ(c)	エビジャコ属(+)
	シオフキ(c)	エビジャコ属(r)	タカノケフサイソガニ(+)
備考	ニホンイサザアミの重量は約 3,400g であった。	マハゼは、城南大橋より小型のものが多かった。	上記の他、タイワンガザミ(3 個体)も捕獲された。

注) 表中の()内の記号は大まかな個体数を表す。

G:1000 個体以上、m:100~1000 個体未満、c:20~100 個体未満、+:5-20 個体未満、r:5 個体未満

葛西人工渚 採取試料

ゴミのように見えるのは、全てニホンイサザアミ
3kg以上（推定60~70万個体）



ボラの稚魚が比較的
多く確認された。



調査地の様子



地曳網調査の様子

確認魚



東京都内湾域に生息する希少種。葛西人工渚に多く生息する。環境省レッドリスト選定種（絶滅危惧Ⅱ類）である。4月調査と比較して全長で約2倍に成長していた。



東京湾をはじめ、全国の内湾や汽水域に生息するニシンと近縁の小型魚で、産卵期は6月から9月。成魚は岡山の郷土料理「ままかり」（酢漬け）の材料として有名である。

お台場海浜公園 採取試料



調査地の様子



地曳網調査の様子

確認魚



東京湾の干潟域の代表的なハゼである。マハゼ等他のハゼ科魚類と異なり、産卵期は5月から9月で、二枚貝の貝殻の中に産卵する。確認個体の中には婚姻色の出たものもあった。



比較的多く確認された。河口から内湾域に生息するマルタの稚魚である可能性が高いが、小型の個体で同定が困難であるためウグイ属にとどめた。

城南大橋 採取試料



調査地の様子



地曳網調査の様子

確認魚



産卵期は12月下旬から2月。孵化した仔魚は浮遊生活期を経て、2月から3月には、調査地点である、河口域や干潟域の水深1m以浅の砂泥海底に着底する。4月に確認されたものより約1.5倍に成長していた。



ほぼ全世界の温・熱帯域に分布し、東京湾にも普通に見られる。稚魚は、主に春季に河口域の浅瀬に出現する。4月に確認されたものより約1.5倍に成長していた。